

鹿児島県宇検村の6年生、雪国体験交流



12月25日から28日までの3泊4日の日程で、鹿児島県宇検村の6年生11名の児童が七ヶ宿町に来町し体験交流を行いました。

宇検村のある奄美地方は亜熱帯海洋性の気候で、暖かい海に囲まれているため、1月から2月でも朝晩の気温が10℃以下となる日は少なく、四季を通じて温暖多湿で年平均気温は20℃を超える所です。

ほとんどの子どもたちは、雪を見るのが初めてで、空港の外に出てその寒さに驚き、町に来てさらに寒くなったことに感激していました。



2日目のスキー体験は、町が雪不足のため山形蔵王温泉スキー場に行きました。

ゲレンデの真っ白な世界と寒さに感動していました。

最初は、スキーで歩くこともできなかった子どもたちもスキースクールの方々の指導により、少しずつ滑れるようになりました。



3日目は櫻井良雄さんの指導のもと、こけしの絵付けを行いました。手本をまねたり独自の模様を工夫していました。

その後に、10cm程積った雪に大喜びで、雪だるまづくりや雪合戦を行いました。



午後は、亘理町の震災復興ボランティアガイドの方から当時の映像で説明を受け、実際の被災地を前に、真剣な表情で語り部さんの話を聞いていました。

その夜は、仙台光のページェントを見学し、その美しさと夜の寒さを楽しんでいました。



宇検村との交流は、今年で2回目となりましたが、南国と雪国という大きな環境の違いを体で感じた貴重な体験となっていますので、今後も交流を重ねて行きたいと思います。



宇検村の村花
ハイビスカス